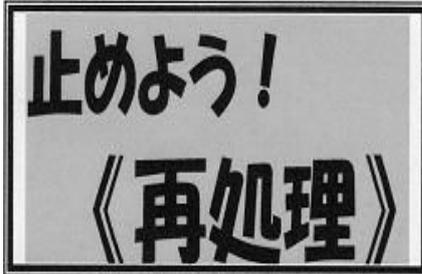


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
 郵便振替 02240-5-102650
 ホームページ《再処理 / 岩手の環境》
<http://sanriku.my.coocan.jp/>
 《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》
 2020(令和2年)
 2月 4日
 第 201号
 編集事務局 S.Oshida
 TEL・FAX 019-623-1636

原発・核燃サイクルの即時中止を!

12/5 省庁・全国市民・議員の院内集会

主催：脱原発政策実現全国ネットワーク
 共催：ストップ・ザ・もんじゅ
 勢：脱原発議員連盟「原発ゼロの会」・厚労資料情報室



脱原発政策の実現をめざす全国市民グループの集会在十二月五日衆議院第一議員会館で開催され、市民・国会議員・関係省庁担当官が話し合いを持ちました。参加者は総数二〇〇人を超え過去最大数となりました。岩手の会からは五人が出席し報告と討論に参加しました。

第1部 報告「再処理工場の重大事故」：永田文夫氏
 講演「迫りくる巨大地震と巨大噴火」：巽好幸氏
 第2部 ヒアリング集会：高レベル廃液 地震・火山
 プルトニウム削減 核燃サイクルの経費
 ◎署名簿提出 (第三次分) 原発・核燃・プルトニウムやめよ
 これまでの総計は **4万3527筆**
 ◎永田報告は ホームページ「三陸の海・岩手の環境」に掲載。

冒頭報告 東海・六ヶ所再処理工場の重大事故 貯蔵中の高レベル廃液のとてつもない危険性

岩手の会世話人 永田文夫

半地下式の貯蔵タンク



が三四〇立方メートル、六ヶ所再処理工場には二二〇立法メートルも貯蔵されています。福島で大気放出された量の七七倍ものセシウムが東海再処理工場にあり、六ヶ所には三五倍です。いったん事故があれば、福島事故の数十倍もの深刻な汚染が起るわけです。

高レベル放射性廃液の恐ろしい事故例

高レベル廃液に係わる事故ですが、まずは、ウラルの核惨事(一九五七年)です。高レベル廃液が乾固して硝酸塩の爆発が起こり、風向きに沿って広範囲に渡って

原発と原爆は、地球が途方もない時間をかけて無くした放射能をわざわざ作っています。こんな物を未来の子供たちに残すなど倫理的にあり得るでしょうか。高レベル放射性廃液を液体のまま保管するなど、とても安心出来ません。

署名簿提出にあたって
 岩手の会・河内



上 東海再処理工場
 右 高レベル放射性廃液タンク(コンクリート内設置)

